

# 平成29年度危機管理学シンポジウム ～核爆発・放射性物質テロに備える～

横須賀市 市民安全部長  
小 貫 和 昭



# テーマ1 事態を覚知できるか

---

## ①核爆発シナリオ

起きることが「派手」。全都道府県に1つ以上モニタリングポストが設置されているので、恐らく覚知できる・・・はず

## ②放射性物質テロ

モニタリングポスト周辺ならば、覚知可能。  
そうでないと・・・

## テーマ2 対処方法(当面の住民対応)

---

N系災害とはFightしない。逃げるのみ

### ①核爆発シナリオ

当面、屋内退避。

避難方針が(国で)決定されたら、  
それに従う。

### ②放射性物質テロ

当面、屋内退避。どこが安全でどこが危険か  
特定するまで、かなりの時間を要するのでは

## テーマ2 対処方法(汚染住民対応)

---

### ①核爆発シナリオ

当面、考えない。

できもしないことには、労力を割かない。

### ②放射性物質テロ

公的な大規模避難施設を設置したら、その入り口で、どこから避難したかを確認し、特定の場所からの避難者には、上着・帽子の脱衣除染をし(夏はどうする?)体表面のサーベイか？

## テーマ3 住民への周知方法

---

ここからは、横須賀私(?)案

国民保護事態は滅多に起きない。  
事態の解説などは、防災行政無線では無理。  
伝達能力で、テレビに勝るものはない。  
テレビなら誰でも見れる(使える)。  
ワンセグなら、停電にも強い。

## テーマ3 住民への周知方法 続き

関東地方一都六県を例にすると

東京⇒NHK総合

神奈川⇒Eテレ

千葉⇒日テレ

埼玉⇒TBS

茨城⇒テレ朝

栃木⇒フジ

群馬⇒テレ東

とあらかじめ割当て、住民に「国保事態の際、そのチャンネルを視聴する」ように平時から周知しておく。

各局は、各都県に特化した情報のみを放送。

# 以下余談 国保訓練の変遷と問題意識

平成19年度：市長以下全部局参加の図上訓練  
主要駅等に化学剤散布事案

平成20年度：実働 & 本部運営 & 図上訓練  
市内各所での爆発物事案

平成21年度：現地調整所設置 & 避難誘導実働訓練  
事案は前年度のものを継続実施



本番がない中、本市の対処の是非、良否は  
誰が判断し、誰が是正してくれるの？

# 考えついたのが「劇場型図上訓練」

他(多)機関は、本市の図上訓練を見ているだけ。プレイヤーは、本市のみ。  
このようにしないと、誰も、市の対応をしっかりと見てはくれない。

他(多)機関は、  
「評価者」として参加



# これまでの「劇場型凶上訓練」

---

平成22年度

市内複数個所でのダーティボム事案  
13機関・29人の評価者

平成23年度

市内に超小型原子爆弾が仕掛けられた  
ことによる全市民の市外への避難事案  
19機関・40人の評価者



横須賀市に超小型原子爆弾を仕掛けられ、政府は、野田総理を本部長とする緊急対処事態対策本部を設置  
政府は、落ち着いて避難するよう呼びかけ

## 状況付与の例 「テレビでこんな報道 がされた」というもの

臨時閣議後、防災服に着替え、  
総理官邸の危機管理センターに  
向かう、野田総理



# 今年度の訓練構想

---

どこかの放送局に、

プレーヤーとして参加してほしい旨

依頼してみようかと・・・

どこが受けてくれるか、お楽しみに・・・

ちなみに、訓練想定は核ミサイル事案

ご清聴に感謝します

---

お問い合わせなどがあれば

横須賀市危機管理課危機対策推進係

電話:046-822-8410

Email:ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

まで、お気軽に。

自然災害を含む危機事案対処は、ナショナル  
ミニマムです。皆で対処力を向上させましょう